

在宅きたかみ

在宅医療介護連携支援だより

発刊：第24号
発行：令和5年
8月30日

★第1回「北上市在宅医療介護連携推進協議会」が開催されました★

と き：令和5年7月20日(木)午後6時30分から8時まで

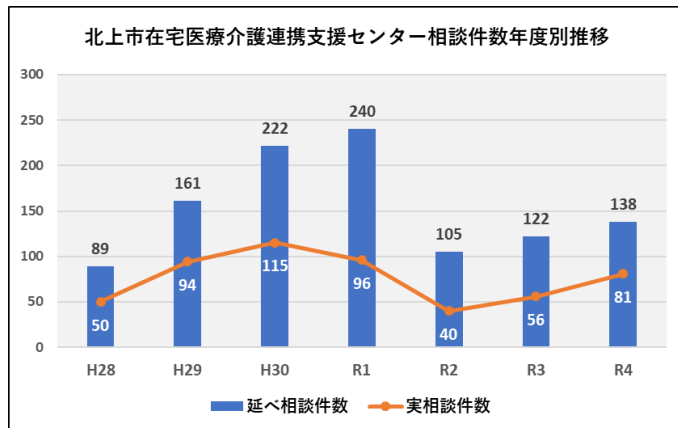
と ころ：北上済生会病院・大会議室

出席者：24名(北上医師会長 他)

今年度第1回目の「北上市在宅医療介護連携推進協議会」が医療・介護関係者の出席のもと開催されました。

北上市と当センターから令和4年度事業報告がそれぞれなされ、次に令和5年度事業計画(案)について協議しました。報告書及び計画書の詳細は在宅きたかみホームページをご覧ください。

また、令和5年度厚生労働省「老人保健健康増進事業」に係る調査検討委員会の委員に、当センター所長の柴内一夫が就任したことについて情報提供がありました。



センター開設以来7年間の相談件数の推移です。令和2年のコロナ禍等による落ち込みから徐々に増加傾向にあります。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|---------|----|---------|---------|------|-----|---------|-----|---------|------------|----|
| データ収集 | | | | | | | ビジョン案作成 | | | | |
| | 分析・仮説設定 | | | | | | | | ビジョン案調整 | | |
| | | | 調査ヒアリング | | | | | | | 新・ロードマップ作成 | |
| | | | | アンケート集計 | | | | | | | |
| | | | | | 内容検討 | | | | | | |

令和5年度内に策定する「第9期北上市介護保険事業計画(いきいきプラン)」に掲載する地域包括ケアビジョンや在宅医療介護連携推進事業のロードマップの策定スケジュールを示した表です。今後、関係者等へのアンケート調査を経て作成していきます。



★第1回「入退院支援作業部会」を開催しました★

と き：令和5年6月15日(木)午後1時30分から3時まで

と ころ：北上済生会病院・大会議室1

出席者：16名(高橋恒信部会長 他)

関係機関・団体の専門職員等が出席し、第1回「入退院支援作業部会」を開催しました。この部会は、北上市在宅医療介護連携推進協議会の下部組織として、平成30年5月に立ち上げ、「入退院支援ハンドブック」の作成や入退院支援のルールづくりなどを協議する組織です。

昨年度からハンドブック改訂版の作成に着手しておりますが、発行が予定より遅れてしまいました。今年9月には「北上市入退院支援のハンドブック/2023年版」を関係者の皆様に送り届けたいと思っております。また、その発行に合わせた勉強会を11月頃を目途に開催することで協議が行われました。関係者の皆様には、改めてご案内いたします。



部会では、地域包括支援センターなどから、病院退院時の連携、連絡方法などについて多くの意見が出され、活発に意見交換がなされました。



現在のハンドブック
「2019年度版」

★第1回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」を開催しました★

と き:令和5年7月26日(水)午後6時30分から8時まで
 ところ:北上済生会病院大会議室・オンライン(ハイブリット式)
 受講者:43名(医療・介護・行政関係者)



「災害時の備えとその対応」

◎講師:
 岩手医科大学医学部 救急・災害講座
 教授 眞瀬智彦 先生

東日本大震災時に岩手県災害対策本部で医療チームの統括役を担い、それを機に災害時の医療支援や次世代の人材育成の道に進み、岩手医大「災害時地域医療支援教育センター」のトップとしても大活躍中。脳神経外科医。



講師の眞瀬智彦先生

今年度3回シリーズの第1回となる「テーマ型研修会」について、岩手医科大学医学部教授の眞瀬智彦先生を講師に迎え、「災害時の備えとその対応」と題し、災害医療と救急医療の違い、過去の災害の教訓を生かした「いわて災害医療ネットワーク」の仕組みなどについて、大変詳細な資料を使って、分かりやすく、かつ特に重要なポイントを絞って講義していただきました。3つの設問では、小グループによる話し合いも行い、災害時初動期の優先事項について確認することができました。眞瀬先生には、様々な経験に基づく貴重な資料の御提供ありがとうございました。

今年も全国の至るところで、豪雨や台風の被害が続発しております。改めて、病院や介護施設等における災害時の初動体制の流れや対策本部の組織体制の点検など、見直しを図ってみたいかがでしょうか。



小グループによる話し合い風景

受講申込人数(職種別・受講方法別)

| 職種 | オンライン | 会場 | 計 |
|--------------------------|-------|----|----|
| 医師 | 7 | 5 | 12 |
| 薬剤師 | 3 | | 3 |
| 看護師 | 9 | 8 | 17 |
| 保健師 | 1 | 3 | 4 |
| 理学療法士・作業療法士 | 2 | | 2 |
| 臨床工学技士 | 1 | | 1 |
| 介護支援専門員 | 2 | 3 | 5 |
| 医療社会事業士 | | 1 | 1 |
| 医療事務 | | 3 | 3 |
| 社会福祉士 | 1 | 2 | 3 |
| 訪問介護員・介護職員 | 2 | 2 | 4 |
| 生活支援コーディネーター(地域包括支援センター) | 2 | | 2 |
| 行政事務 | 2 | 1 | 3 |
| 消防・救急関係者 | 5 | 1 | 6 |
| 学生 | 1 | | 1 |
| その他 | | 1 | 1 |
| 計 | 38 | 30 | 68 |

★新規事業「緩和ケア研修会」がスタートしました★

と き:令和5年8月9日(水)午後6時15分から7時15分まで
 ところ:北上済生会病院大会議室・オンライン(ハイブリット式)
 講師:岩手県立中部病院 副院長 星野彰 先生
 受講者:120名(医療・介護・行政関係者)

岩手県立中部病院の星野彰副院長の絶大なる御協力のもと、「緩和ケア研修会」の第1回が開催されました。この研修会は、企画段階から北上済生会病院と医療法人社団敬和会が関わり、5回シリーズで実施することとしたものですが、市内の医療・介護関係者の反響も大きく、会場、オンライン合わせて140名の申し込みがありました。

緩和ケア研修会(医療・介護従事者向け) 「星野先生の緩和ケア講座」 ～ホスピス・ロードショー2023～

岩手県立中部病院、北上済生会病院、医療法人社団敬和会のコラボレーションで開催する研修会です。全5回シリーズで構成されており、緩和ケアの基礎を学べる貴重な機会です。

講師:星野彰氏(岩手県立中部病院 副院長)
 第3回講師:和泉安弘氏(岩手県立中部病院 緩和ケア特定認定看護師)

| 回 | 開催日時 | 研修テーマ |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 令和5年8月9日(水) 18:15~19:15 | 演題:「緩和ケアってどんなこと?〇〇だけじゃない緩和ケア」「看取り」だけじゃない「疼痛コントロール」だけじゃない「がん」だけじゃない「緩和ケア病棟」だけじゃない |
| 2 | 令和5年10月23日(月) 18:15~19:15 | 演題:「インフォームドコンセントとアドバンス・ケアプランニング」～医療を決めるのは誰?～ |
| 3 | 令和5年12月1日(金) 18:15~19:15 | 演題:「緩和ケア病棟ってどんなところ?」～呼吸器症状/せん妄症状/コミュニケーション能力～ |
| 4 | 令和6年1月23日(火) 18:15~19:15 | 演題:「疼痛コントロール」～基礎・実践・初級者編～ |
| 5 | 令和6年2月27日(火) 18:15~19:15 | 演題:「お別れが近づいた時の家族ケア」 |



おなじみの、いつもの楽しい口調で、そして力強く、クイズを交えながら講義する星野先生

上記のとおり、8月9日から来年の2月27日までの全5回開催します。残念ながら受講申し込みは既に終了しておりますが、お問合せ等は事務局(在宅きたかみ)まで御連絡をお願いします。研修の開催状況はその都度「在宅きたかみホームページ」で公開しますので、そちらもぜひご覧ください。



★第1回「シン・ケアラボ@きたかみ」を開催しました★

と き: 令和5年6月30日(金)午後6時30分から8時30分まで
 ところ: hoKko(ふれあいホール)
 出席者: 73名(うち参加者61名)

昨年12月、新たにスタートした「シン・ケアラボ@きたかみ」の第3回目(通算25回目)を開催しました。ここ3回までで最も多い61名の多職種、多分野からの参加となりました。

5年度も引き続き「みんなで描こう “重層的支援体制”のカタチ」を共通テーマとして話し合っていました。

今回の話題提供者として、今年の5月に重症心身障がい児や医療的ケア児及びその家族を支えるサービスを提供する

事業所を開設した、「ひだまり北上☆きらり」所長の島津愛郎氏にお越しいただき、障がい児等の取り巻く現状や今後の展望と課題についてのお話をいただきました。

そのあとのグループトークにおいて、障がい等を持つ児童と暮らす家族を仮想でつくっていただき、様々な専門職や地域住民がどのように関わって、つなげて、支援を広げていくのかを、自由に話し合っていました。

令和5年度第1回(25回目)
シン・ケアラボ
 @きたかみ
 主催: 北上市在宅医療介護連携支援センター(在宅きたかみ) 共催: 北上市

未来につながる
 “支援”のあり方を
 話し合おう...

<令和5年度の共通テーマ>
 みんなで描こう “重層的支援体制”のカタチ

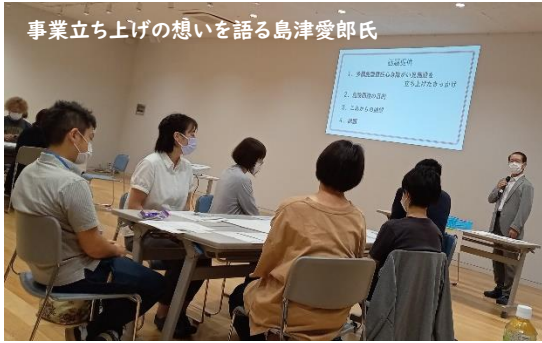
日時: 令和5年6月30日(金) 18:30~20:30
 場所: hoKko 1階 ふれあいホール
 開催形式: 集合型で実施します。

◎内容
 ・話題提供 社会福祉法人若手ひだまり会 ひだまり北上☆きらり所長 島津 愛郎さん
 重症心身障がい児や医療的ケア児、その家族の日常活動を支える施設を立ち上げたきっかけ、目的、そしてこれからの展望や課題などを話していたいただきます。
 ・グループトーク、情報交換
 ◎スタッフ
 ・総合MC ホームケアクリニックさん 櫻井 茂 氏
 ・運営委員 (多職種の皆さん6名)

◎参加時業者
 ・医療・介護・福祉・行政に従事する専門職等
 ・上記分野に関する民間企業、NPO法人、各種団体等の方々

◎参加方法
 ・要項の申込み用紙に記入しFAXで送信願います。
 ◎申し込み
 ・6月20日(火) 必着

<シン・ケアラボとは?>
 医療・介護・福祉・行政などの様々な専門職や民間企業、団体等の方々が一堂に会して話し合う、市内で唯一の定例です。高齢者に限らず、障がい者、生活困窮者、子ども、子育てなど、分野の垣根を越え互いの悩みをくつろから様々な課題を語り合います。北上市民の誰もが住みよいまちとなる一翼を担うネットワークづくりを目指しています。



事業立ち上げの想いを語る島津愛郎氏



AからLまでの12グループに分かれ、仮想家族のジェノグラムをつくりながら交流する参加者の皆さん。



総合MC: 櫻井茂さん(えん)
 MC: 竹花由香さん(わっこ)

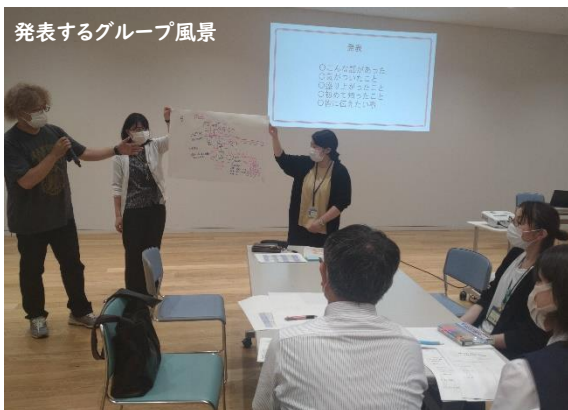
◆対話のテーマ①◆
 ①家族に必要な支援、起こりそうな問題はなに?
 ②問題解決に活用できる制度、機関、サービスはなに?

◆対話のテーマ②◆
 ①あなたはライフストーリーのどの時点で関われるか?
 ②支援のバトンの受け取り方、次のつなぎかたは?

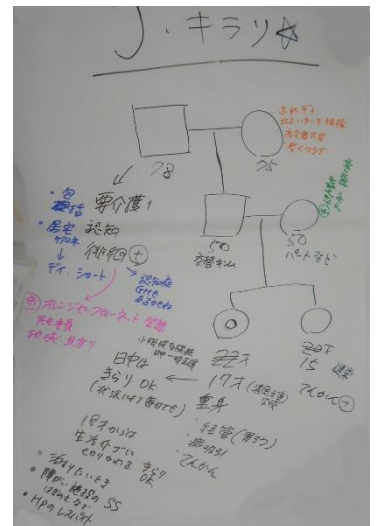
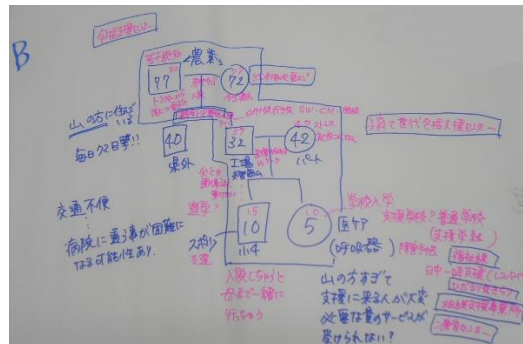


課題などを出し合うグループ風景

仮想でこれだけ詳しいジェノグラムをつくり、かつ様々な問題を提起し、多職種で何をどのようにつなげていくか、たいへん興味深い発表が続きました。その内容については、「在宅きたかみホームページ」に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



発表するグループ風景



★認定看護師等による出前研修★

令和5年6月22日開催(特養ホーム)

講師:岩手県立中部病院

中村舞氏(救急看護認定看護師)

「応急手当と救急受診」と題して、様々な怪我や症状の場面における応急手当の仕方や救急受診時における病院との情報伝達のあり方などについて、分かりやすく講義をしていただきました。日ごろから緊急対応も多い介護施設の職員にとって、とても役に立つ内容でした。



【申込・開催状況】

| 開催日 | 事業所種別 | 研修分野 |
|----------|-------------|-----------|
| R4.11.16 | 有料老人ホーム | 摂食・嚥下障害看護 |
| 11.30 | 認知症グループホーム | 皮膚・排泄ケア |
| 12.8 | 有料老人ホーム | 摂食・嚥下障害看護 |
| 12.14 | サービス付き高齢者住宅 | 摂食・嚥下障害看護 |
| R5.2.2 | 特別養護老人ホーム | 感染管理 |
| 6.22 | 特別養護老人ホーム | 救急看護 |
| 6.23 | 認知症グループホーム | 皮膚・排泄ケア |



令和5年6月23日開催(認知症GH)

講師:岩手県立中部病院

千田由美子氏(皮膚・排泄ケア特定認定看護師)

「スキンケアとオムツ」について、具体的な症状や実際の商品を紹介しながら講義をしていただきました。スキンケア3要素の講義や実技を交えながらのオムツ交換の仕方など、今すぐにも実践できる内容がふんだんにあり、介護職員の皆さんも真剣に学んでいました。



【メニュー別開催状況】

| 研修分野 | 開催数 | 事業所種別 |
|-----------|-----|--------------------------------------|
| 感染管理 | 1 | 特別養護老人ホーム |
| 皮膚・排泄ケア | 2 | 認知症グループホーム2 |
| 摂食・嚥下障害看護 | 3 | 有料老人ホーム 認知症グループホーム サービス付き高齢者住宅 |
| 認知症看護 | 0 | |
| 緩和ケア | 0 | |
| 救急看護 | 1 | 特別養護老人ホーム |
| 合計 | 7 | |

◆◆Topics 4月~7月◆◆

- 5月19日(金) 「シン・ケアラボ@きたかみ運営委員会」を開催しました
- 5月24日(水) 「もしもに備えるセミナー」に出席しました
- 6月8日(木) 「高齢者虐待対応勉強会」に出席しました
- 6月12日(月) 北上済生会病院内研修会「入退院支援について」に出席しました
- 6月16日(金) 包括北上中央主催「相去・鬼柳地区ネットワーク研修会」に出席しました
- 6月19日(月) 「シン・ケアラボ@きたかみ運営委員会」を開催しました
- 6月29日(木) 市主催「ケアマネジメント支援会議」に出席しました
- 7月4日(火) 北上済生会病院内研修会「地域共生社会と北上済生会病院」を共催で開催しました
- 7月12日(水) 「北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会」を開催しました
- 7月20日(木) 厚生労働省老人保健健康増進事業「調査検討委員会」に出席しました



研修等の告知

第2回「シン・ケアラボ@きたかみ」
⇒⇒(9/26開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染者が増加しているため、延期します。)
日程変更の上、改めて御案内します。

第2回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」⇒⇒(9月下旬に案内します)
開催:令和5年10月25日(水)18:30~20:00
場所:北上済生会病院(2階大会議室)

編集後記

気象庁によると「記録的短時間大雨情報」とは、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したときに発表する情報だそうです。先日、当地域にも出されてびっくりしました。最近ではテレビで天気予報を見るというより、スマホで“雨雲レーダー”を確認することが多くなったような気がします。皆さんはどのように確認していますか?(H)

発行/北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目15番33号
北上済生会病院1階
TEL:0197-65-6121 FAX:0197-65-6122
HP:<http://www.zaitaku-kitakami.com/>

